安全データシート

セクション1ー化学品及び会社情報	
商品名:	クワットスタット SC
製品状態:	液体
供給元・製造元:	ベトココーポレーション(米国)
緊急連絡先:	800-424-9300
輸入販売元:	東栄部品株式会社
住所:	東京都文京区本駒込 6-3-6
TEL:	03-3946-8111
FAX:	03-3946-8116
担当者:	東栄部品株式会社 大河内清忠

セクション 2ー危険有害性の要約

OSHA/HCS:本製品は OSHA の危険有害性周知基準(29 CFR 1910.1200)によると危険性があると考えられています。本製品は EPA 登録製品です。

成分または混合物の分類

可燃性 :	区分 3
急性毒性 (経口) :	区分 4
急性毒性 (経皮) :	区分 4
皮膚の腐食/刺激性 :	区分 1B
重篤な目の損傷/刺激性 :	区分 1

GHS ラベル要素

危険有害性絵表示:

注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	可燃性の液体・蒸気 重篤なやけど、および目の損傷をもたらす 重篤な目の損傷をもたらす (OSHA に基づく) 腐食性、不可逆的目の損傷及び皮膚の火傷をもたらす恐れ 飲み込む、もしくは皮膚から吸収すると有害 (EPA に基づく)

使用上の注意

安全対策:	安全に取り扱うための説明を熟知するまで、この製品を使用してはいけません。保護手袋を着用して下さい。< 1 時間(破過時間): ブチルゴム 目または顔の保護具を着用して下さい。 推奨:スプラッシュゴーグル。火気厳禁・周囲での喫煙禁止。耐爆発性の電気・換気・照明装置を使用してください。火花を出す道具は使用しないでください。静電気に対する対策を行ってください。容器のふたがしっかりと閉じられていることを確認してください。取り扱い後は十分に手を洗い流して下さい。
応急処置:	気分が優れない場合や本製品にばく露をした場合は医師に相談して下さい。吸引した場合:被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させて下さい。直ちに医師に連絡して下さい。飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡して下さい。口をすすいでください。無理に吐かせようとしないで下さい。皮膚(または髪)に触れた場合:汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を流水またはシャワーで洗い流して下さい。再使用する場合は洗濯をして下さい。直ちに医師に連絡して下さい。目に入った場合:目を数分間入念にすすいで下さい。コンタクトレンズをしている場合は、可能であれば外して下さい。すすぎ続けて下さい。直ちに医師に連絡して下さい。
保管:	密閉した状態で保管して下さい。涼しく十分に換気された場所で保管して下さい。
処分:	国際、国、都道府県、市町村の規則に従って内容物/容器を廃棄して下さい。
分類されない危険有害性:	知られていない

セクション 3ー組成及び成分情報

物質/混合物:	混合物
その他の識別方法:	N/A
CAS No./その他の識別	
CAS No.:	N/A
製品番号:	340

成分名	CAS#	%
ベンジル [アルキル (C12~16)] ジメチルアンモニウム=クロリド	68424-85-1	≥5 - <9
Decyldimethyloctylammonium chloride	32426-11-2	≥5 - <7

α－アルキル（Ｃ１２～１５）－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）	68131-39-5	≥5 - <10
ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	7173-51-5	≥3 - <5
エチレンジアミン四酢酸ナトリウム	64-02-8	≥3 - <3.4
エタノール	64-17-5	≥1 - <3
ジオクチルジメチルアンモニウム＝クロリド	5538-94-3	≥1 - <2.9

パーセントの範囲での表記は、機密事項と生産ロットにより多少の誤差があるためです。**上記以外の成分で、生産者知る限り人体に影響を及ぼすと考えられる成分の含有はありません。職業性曝露制限に関してはセクション 8 をご確認ください。**

セクション 4－応急処置

目の接触: 直ちに医師に相談して下さい。直ちに十分な量の水でときどき上瞼と下瞼を持ち上げながらで洗い流して下さい。コンタクトレンズをしている場合は外して下さい。少なくとも 10 分間はすすぎ続けて下さい。薬傷した場合は直ちに医師の診断を受け受けて下さい。

吸い込み: 直ちに医師の診断を受けて下さい。被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させて下さい。ガスが発生している疑いのある場合、救助者は適切なマスクもしくは自給式呼吸装置 (SCBA)の着用が必要です。息をしていない、呼吸が不規則または停止している場合、訓練を受けた者による人工呼吸を実施して下さい。マウス・トゥー・マウス式の人工呼吸を施すことは危険を伴う恐れがあります。意識がない場合、回復体位で寝かし、直ちに医師の診断を受けて下さい。気道確保をして下さい。襟、ネクタイ、ベルト等の窮屈な部分を緩めて下さい。火災による分解生成物を吸い込んだ場合、症状が遅れて現れる恐れがあります。分解生成物にさらされた場合、48 時間の医学的な監視を受ける必要が見込まれます。

皮膚の接触: 直ちに医師の診断を受けて下さい。十分な量の水と石鹸で洗い流して下さい。汚染した衣服と靴を脱いで下さい。脱ぐ前に水で汚染した服を洗い流す、または手袋を着用して下さい。少なくとも 10 分間すすぎ続けて下さい。薬傷した場合は直ちに医師の診断を受けて下さい。再使用する前に衣服と靴を十分に洗って下さい。

飲み込み: 直ちに医師の診断を受けて下さい。口を水で洗い流して下さい。入れ歯をしている場合は外して下さい。被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させて下さい。被災者が内容物を飲み込んで、意識がある場合は少量の水を飲ませて下さい。内容物にさらされて、吐き気を催している場合は水を与えてはいけません。嘔吐すると危険な状態になり得ます。医療従事者の指示がない限り、患者を無理に吐かせようとしないで下さい。嘔吐した場合、頭部を低い位置に保ち、嘔吐物が肺に侵入しないようにして下さい。薬傷した場合は直ちに医師の診断を受けて下さい。意識のない患者に決して口から何も与えないで下さい。意識がない場合は回復体位で寝かし、直ちに医師の診断を受けて下さい。気道を確保してて下さい。襟、ネクタイ、ベルト等の窮屈な部分を緩めて下さい。

最も重要な急性及び慢性の症状及び影響

目との接触 : 重篤な目の損傷をもたらす。（OSHA に基づく） 不可逆的な目の損傷をもたらす。（EPA に基づく）

吸い込み: 重大な影響や危険性は知られていない。

皮膚との接触: 重篤な火傷をもたらす。(OSHA に基づく） 皮膚の火傷をもたらす。経皮吸収すると有害。(EPA に基づく)

飲み込み: 重大な影響や危険性は知られていない。(OSHA に基づく)飲み込むと有害。(EPA に基づく)

過度の暴露における症状

目との接触 : 副作用: 痛み、流涙、充血

吸い込み: データなし

皮膚との接触: 副作用: 痛みまたは刺激、赤み、水膨れをもたらす恐れ

飲み込み: 腹痛

即時医療処置及び 特別治療の必要性(必要に応じて)

医師への注記: 火災による分解生成物を吸い込んだ場合、症状が遅れて現れる恐れがあります。分解生成物にさらされた場合時間の医学的な監視を受ける必要が見込まれます。

特別な治療: 特になし

応急処置を行う人の保護: 危険を伴う、または適切な訓練なしでの対応は避けて下さい。ガスが発生している疑いのある場合、救助者は適切なマスクもしくは自給式呼吸装置 (SCBA)の着用が必要です。マウス・トゥー・マウス式の人工呼吸を施すことは危険を伴う恐れがあります。汚染した服を脱ぐ前に水で汚染した服を洗い流す、または手袋を着用して下さい。

有害性情報をご参照ください。(セクション 11)

セクション 5－火災時の措置

消火剤

適切な消火剤: 粉末消火剤、二酸化炭素、水霧または泡を使用して下さい。

不適切な消火剤: ウォータージェットは使用しないでください。

化学物質から生じる特定の危険: 可燃性液体、蒸気。火災や高温の場所では、内部圧力が増し、容器が破裂及び爆発する危険があります。下水管へ流出液を放出した場合、火災や爆発の危険性を及ぼします。

有害な熱分解生成物: 分解生成物は以下を含む:二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、ハロゲン化合物、金属酸化物

消防士のための特別な保護処置: 現場の近辺から人を避難させ、被害場所を隔離します。危険を伴う、または適切な訓練なしでの対応は避けて下さい。安全が確保出来るのであれば、火災から容器を遠ざけて下さい。火災に接触した容器を冷却するために水をかけて下さい。

消防士のための特別な保護用具: 消防士は適切な防護服及び陽圧で動作するフルフェイス部分を備えた自給式呼吸装置(SCBA)を着用して下さい。

セクション 6－漏出時の処置

個人予防策・個人保護用具・緊急手順

非救急隊員:	危険を伴う、または適切な訓練なしでの対応は避けて下さい。該当区域から避難して下さい。不用意に該当区域へ人を近づけてはいけません。流出物質に触れること、その上を歩くことは避けて下さい。蒸気やミストを吸い込むことは避けて下さい。適度な換気が必要です。換気が十分でない場合は、適切な呼吸器系の保護マスクを着用して下さい。適切な個人用保護具を着用して下さい。
救急隊員:	漏洩物の取り扱いに特殊服の着用が必要な場合、セクション 8 の適切/不適切な素材について参照して下さい。上記の「非救急隊員」の項目も併せて参照して下さい。
環境的予防措置:	漏洩物を散乱させないようにし、排水溝や下水管への侵入、及び土壌との接触も避けて下さい。環境汚染（下水管、水路、土壌、空気）をもたらした場合、地方自治体に連絡して下さい。

汚染や清掃のための素材・対処法

少量の漏洩の場合:	安全が確保出来るのであれば、漏れを止めて下さい。漏洩区域から容器を移動して下さい。水に溶ける場合、水で希釈をしてモップで拭き上げて下さい。水に溶けない場合、不活性の吸収素材で拭き取り、適切な廃棄物処理容器に処分して下さい。認可を受けた廃棄物処理業者を利用して下さい。
大量の漏洩の場合:	安全が確保出来るのであれば、漏れを止めて下さい。漏洩区域から容器を移動して下さい。火花や爆発を導かない工具を使用して下さい。風上に留まって下さい。下水管、水路、地下や密閉区域への侵入を防いで下さい。排水処理施設へ漏洩物を流し、以下のように処理して下さい。不燃性の吸収素材（例：砂、土、蛭石、珪藻類）で漏洩物を収集し、地方規制（セクション 13 を参照）に従って容器に処分して下さい。認可を受けた廃棄物処理業者を利用して下さい。汚染した吸収はこぼれた製品と同等の危険性があります。緊急時の連絡はセクション 1、廃棄物処理についてはセクション 13 を参照して下さい。

セクション7－取り扱い及び保管上の注意

安全な取り扱い方法

保護措置:	適切な個人用保護具を着用して下さい。（セクション 8 参照）目、皮膚、また衣服に触れるのは避けて下さい。飲み込んではいけません。蒸気やミストを吸い込むのは避けて下さい。適度に換気して使用して下さい。換気が不十分な場合は呼吸器系保護用具を着用して下さい。換気が十分でない場合は保管区域に立ち入らないで下さい。使用しない時は元の容器又は適合素材で作られた認可済の代替え容器に入れ、密閉して保管して下さい。熱、火花、裸火、その他の着火源から遠ざけて保管及び使用して下さい。防爆型の電気機器（換気装置、照明機器）を使用して下さい。火花を発生させない工具を使用して下さい。静電放電から予防措置を実施して下さい。酸性からは遠ざけて下さい。空容器は残留物を含有するので危険です。容器を再利用しないで下さい。
一般的な職業衛生に関する助言:	本製品を使用及び保管している区域で飲食や禁煙は厳禁です。飲食や喫煙前に手と顔を洗って下さい。汚染衣類や保護用具は飲食の場所に入る前に外してください。衛生措置に関してはセクション 8 も参照して下さい。
不適合素材を含む安全な保管方法:	各自治体の指示に従い保管して下さい。隔離されていて認可の受けた区域で保管して下さい。直射日光を避け、乾燥していて、涼しく、換気の十分な場所で適合性のない素材（セクション 10 を参照）や飲食物から遠ざけて元の容器で保管して下さい。密閉して保管して下さい。いかなる着火源を除去して下さい。酸や酸化剤から遠ざけて下さい。開封している容器は、液漏れを防ぐため新たに封をして、直立させた状態で保管して下さい。ラベルがない容器での保管は避けて下さい。環境汚染防止のために適切な封じ込め対策を実施して下さい。

セクション 8－ばく露防止及び保護措置

制御パラメータ

職業別被ばく限度

成分名	被ばく上限
エタノール	**ACGIH TLV (United States, 3/2015)** STEL: 1000ppm 15 分 **OSHA PEL 1989 (United States, 3/1989)** TWA: 1000ppm 8 時間 TWA: 1900mg/m³ 8 時間 **NIOSH REL (United States, 10/2013)** TWA: 1000ppm 10 時間 TWA: 1900mg/m³ 10 時間 **OSHA PEL (United States, 2/2013)** TWA: 1000ppm 8 時間 TWA 1900mg/m³ 8 時間

適切な工学的制御:	必ず十分に換気をして使用して下さい。使用者の作業により粉じん、煙、ガス、蒸気、またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質へのばく露をいかなる推奨値あるいは法定限度以下に保って下さい。技術的制御はガス、蒸気、ダスト濃度がいかなる爆発下限界以下でなくてはなりません。防爆型の換気装置を設置して下さい。

環境へのばく露制御:	換気装置もしくは作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認して下さい。場合によってはヒュームスクラバーやフィルター等の変更などが排出物を許容範囲まで抑えるために必要とされます。
個人保護措置	
衛生対策:	飲食や喫煙及びトイレ使用前、作業の終わり、そしてケミカル製品を取り扱った後は手や前腕、顔全体を洗って下さい。汚染した可能性がある衣服を脱ぐ際は十分に注意をして下さい。再使用の前には必ず洗って下さい。洗眼場所及び安全用シャワーが作業現場の近くで利用可能なことを確認して下さい。
目と顔の保護:	ミスト、ガス、粉じん、ケミカルの飛び散りによるばく露を避けるため、承認された基準に合格した安全眼鏡の着用を推奨します。接触の可能性がある場合は、より高度な保護が要求される状況を除いて、以下の保護用具を着用して下さい。 :化学スプラッシュゴーグル、またはフェイスシールド。吸い込みの危険性がある場合、フルフェイス式の呼吸器系保護具の着用が求められます。推奨:スプラッシュゴーグル。
皮膚の保護	
手:	リスク評価により必要性が示されたときは、ケミカル製品を取り扱う際は承認された基準に合格した耐ケミカル、不浸透性の手袋を常に着用して下さい。手袋の製造業者により特定されるパラメータを考慮し、使用中に手袋が保護性を維持しているか確認して下さい。いかなる手袋繊維の破過時間は製造業者ごとに異なります。混合素材の場合はいくつかの繊維で構成されるため、手袋の保護時間を正確に推定することは困難です。1 時間(破過時間):ブチルゴム
身体:	本製品を取り扱う前に、作業内容とそれに付随するリスクに基づき適切な保護具を選択し、専門家の承認を受けて下さい。静電気による発火の恐れがある場合、防電性のある服を着用してください。静電気を適切に放電するには、静電気防止素材の使われたオーバーオール・靴・手袋が必要です。
皮膚:	本製品を取り扱う前に、作業内容とそれに付随するリスクに基づき適切な履物及び追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の承認を受けて下さい。
呼吸器:	リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用して下さい。呼吸保護具を選択する際は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければなりません。
個人保護用具(絵表示):	

セクション 9ー物理的及び化学的性質	
外観	
物理的状態:	液体
色:	紫
香り:	特徴的な匂い
臭気限界:	N/A
pH:	12 - 13.5
溶解点:	N/A
沸点:	N/A
引火点:	クローズドカップ法: 51.66°C
蒸発率:	N/A
引火性(固体・気体):	N/A
爆発(燃焼)限界の上限及び下限:	N/A
蒸気圧:	N/A
蒸気密度:	N/A
比重:	1.00912
溶解性:	冷水、温水で容易に溶ける
分配係数:	N/A
自然発火温度:	N/A
分解温度:	N/A
粘着性:	N/A

セクション 10ー安定性と反応性	
反応性:	本製品または本成分に対して反応性を評価する試験データなし
化学的安定性:	安定している
危険反応の可能性:	通常の使用状況、保管状況では特になし
回避すべき状態:	いかなる潜在的な着火源(炎、火花)を回避すること。容器に加圧、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、穴開け、研磨することや、容器を熱、火災、火花、または他の発火源にさらすのは避けること。
素材不適合物質:	酸化剤
有害分解生成物:	通常の使用及び保管状況では特になし

セクション 11－有害性情報

有害性情報

急性毒性:

成分名	結果	種	投与	ばく露
ベンジル［アルキル（Ｃ１２～１６)］ジメチルアンモニウム＝クロリド	LD50 径口	ラット	426 mg/kg	−
α－アルキル（Ｃ１２～１５）－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）	LD50 経口	ラット	2g/kg	−
ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	LD50 経口	ラット	84mg/kg	−
エチレンジアミン四酢酸ナトリウム	LD50 経口	ラット	10g/kg	−
エタノール	LC50 吸い込み(蒸気)	ラット	124700mg/m³	4 時間
	LD50 経口	ラット	7g/kg	−

刺激・腐食性

成分名	結果	種	スコア	ばく露	観察
ベンジル［アルキル（Ｃ１２～１６)］ジメチルアンモニウム＝クロリド	皮膚 - 重度の刺激性	ラビット	-	25 ミリグラム	-
ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	皮膚 - 重度の刺激性	ラビット	-	500 ミリグラム	-
エチレンジアミン四酢酸ナトリウム	目 - 中程度の刺激性	ラビット	-	24 時間 100 ミリグラム	-
	皮膚 - 中程度の刺激性	ラビット	-	24 時間 500 ミリグラム	-
エタノール	目 - 軽度の刺激性	ラビット	-	24 時間 500 ミリグラム	-
	目 - 中程度の刺激性	ラビット	-	0.67 分 100 ミリグラム	-
	目 - 中程度の刺激性	ラビット	-	100 マイクロリッター	-
	目 - 重度の刺激性	ラビット	-	500 マイクログラム	-
	皮膚 - 軽度の刺激性	ラビット	-	400 ミリグラム	-
	皮膚 - 中程度の刺激性	ラビット	-	24 時間 20 ミリグラム	-

感作性: N/A

変異原性: N/A

発がん性: N/A

生殖毒性: N/A

催奇形性: N/A

特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）: N/A

特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）: N/A

吸引性呼吸器有害性： N/A

潜在ばく露経路 **侵入経路：** 径口、経皮、吸引

潜在的な急性健康影響

目の接触： 重篤な目の炎症をもたらす(OSHA に基づく) 不可逆的な目の損傷をもたらす (EPA に基づく)

吸い込み： 重大な影響や危険性は知られていない

皮膚の接触： 重篤な火傷をもたらす（OSHA に基づく）皮膚火傷をもたらす。経皮吸収すると有害（EPA に基づく）

飲み込み： 重大な影響や危険性は知られていない（OSHA に基づく） 飲み込むと有害 (EPA に基づく)

物理的、化学的及び毒学的特性に基づく兆候

目の接触： 痛み、流涙、充血

吸い込み: データなし

皮膚の接触: 痛みまたは刺激、赤み、水膨れをもたらす恐れ

飲み込み: 腹痛

短期的及び長期的後発性及び即効性及び慢性影響

短期的曝露

潜在的即効性影響: N/A

潜在的後発性影響: N/A

長期的曝露

潜在的即効性影響: N/A

潜在的後発性影響: N/A

潜在慢性健康影響

N/A

一般: 重度の影響や危険性は知られていない

発がん性: がんを引き起こす恐れ。発がんリスクはばく露のレベルと時間による。

変異原性: 重度の影響や危険性は知られていない

催奇形性: 重度の影響や危険性は知られていない

発達効果: 重度の影響や危険性は知られていない

生殖影響: 重度の影響や危険性は知られていない

毒性の数値評価:	
急性毒性推定値:	
経路	ATE 数値
経口	2233.6 mg/kg
経皮	3291 mg/kg
吸い込み（蒸気）	281.6 mg/l

セクション 12ー環境影響情報

毒性

成分名	結果				種		ばく露
ベンジル［アルキル（Ｃ１２～１６）］ジメチルアンモニウム＝クロリド	急性	EC50	670 ug/l	真水	藻類 -	Chlorella pyrenoidosa - Exponential growth phase	96 時間
	急性	EC50	5.9ppb	真水	ミジンコ -	Daphnia magna	48 時間
	急性	LC50	64ppb	真水	魚 -	Oncorhynchus mykiss	96 時間
	慢性	NOEC	4.15 ppb	海水	ミジンコ -	Daphnia magna	21 日
	慢性	NOEC	32.2 ppb		魚-	Pimephales promelas	34 日
αーアルキル（Ｃ１２～１５）ーωーヒドロキシポリ（オキシエチレン）	急性	EC50	0.7 mg/l	真水	藻類 -	Pseudokirchneriella subcapitata	96 時間
	急性	EC50	0.39 mg/l	真水	甲殻類 -	Ceriodaphnia dubia - Neonate	48 時間
	急性	EC50	302 ug/l	真水	ミジンコ -	Daphnia magna - Neonate	48 時間
	急性	LC50	1400 ug/l	真水	魚 -	Pimephales promelas	96 時間
	慢性	NOEC	1mg/l	真水	藻類 -	Pseudokirchneriella subcapitata	96 時間
	慢性	NOEC	83ug/l	真水	ミジンコ -	Daphnia magna - Neonate	21 日
ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	急性	EC50	110ug/l	真水	藻類 -	Chlorella pyrenoidosa Exponential growth phase	72 時間
	急性	EC50	14.22ppb	真水	藻類 -	Pseudokirchneriella subcapitata	96 時間
	急性	EC50	18ppb	真水	ミジンコ -	Daphnia magna	48 時間
	急性	LC50	39ug/l	海水	甲殻類 -	Americamysis bahia – Juvenile (Fledgling, Hatchling, Weanling)	48 時間
	急性	LC50	0.01ug/l	真水	魚 -	Acipenser transmontanus Larvae	96 時間
	慢性	NOEC	25ug/l	真水	藻類 -	Pseudokirchneriella subcapitata Exponential growth phase	72 時間
	慢性	NOEC	125ug/l	真水	ミジンコ -	Daphnia magna	21 日
エチレンジアミン四酢酸ナトリウム	急性	LC50	486000ug/l	真水	魚 -	Lepomis macrochirus	96 時間
エタノール	急性	EC50	17.921mg/l	海水	藻類 -	Ulva pertusa	96 時間
	急性	EC50	2000ug/l	真水	ミジンコ -	Daphnia magna	48 時間
	急性	LC50	25500ug/l	海水	甲殻類 -	Artemia franciscana - Larvae	48 時間
	急性	LC50	42000ug/l	真水	魚 -	Oncorhynchus mykiss	4 日
	慢性	NOEC	4.995mg/l	海水	藻類 -	Ulva pertusa	96 時間
	慢性	NOEC	100ul/l	真水	ミジンコ -	Daphnia magna - Neonate	21 日
	慢性	NOEC	0.375ul/l	真水	魚 -	Gambusia holbrooki - Larvae	12 週
ジオクチルジメチルアンモニウム＝クロリド	急性	EC50	0.1ppm	真水	ミジンコ -	Daphnia magna	48 時間
	急性	LC50	0.7ppm	真水	魚 -	Oncorhynchus mykiss	96 時間

残留性/分解性

N/A

生体内蓄積能

成分名	LogPow	BCF	Potential
αーアルキル（Ｃ１２～１５）ーωーヒドロキシポリ（オキシエチレン）	2.03 – 6.24	-	高
エチレンジアミン四酢酸ナトリウム	5.01	1.8	低
エタノール	-0.35	-	低

土壌-水分配係数(Koc): N/A

その他の副作用: 重度の影響や危険性は知られていない

セクション 13ー廃棄上の注意

廃棄処分方法: 廃棄物は可能な限り最小限に抑え、溶液は所定の処理施設にて処分下さい。国、都道府県、市町村の廃棄処理基準に従って廃棄して下さい。管轄当局の容認がある場合を除いて溶液を下水に処分してはいけません。梱包容器は再利用が可能です。焼却や埋め立てによる処分は再利用が出来ない状況においてのみ検討が許されます。本製品及び容器は安全な方法で処分をして下さい。空容器やライナーには本製品の溶液が残留している可能性があります。残留物から生じる蒸気は容器内で可燃性、爆発性の高い空気を生成します。内部が完全に清掃されていない限り、使用した容器を切断、溶接、もしくは研磨等を実施してはいけません。液体が飛び散らないように注意し、土壌、水路、排水口や下水管との接触は

	避け下さい。

セクション 14ー輸送情報

	DOT 分類	TDG 分類	メキシコ分類	ADR/RID クラス	IMDG クラス	IATA クラス
UN 番号				2920	2920	2920
UN 適切な船積み名称	化合物、液体洗剤（陸上輸送のみ）	N/A	化合物、液体洗剤（陸上輸送のみ）	腐食性液体、可燃性液体 NOS（Dialkyldimethylammonium chloride, エタノール）	腐食性液体、可燃性液体 NOS（Dialkyldimethylammonium chloride, エタノール）	腐食性液体、可燃性液体 NOS（Dialkyldimethylammonium chloride, エタノール）
輸送ハザードクラス				8(3)	8(3)	8(3)
PG（梱包分類）				II	II	II
環境ハザード	無	無	無	無	無	無
追加情報	**数量制限** 有	**爆発性限度および数量制限** 1	-	**トンネルコード** (D/E)	5kg または 5L 未満で輸送される場合、海洋汚染物質を示すマークの必要なし	その他の輸送規制により制限がある場合、環境有害物質を示すマークが要求される場合あり

使用者のための特別な予防措置:

使用者の施設内での輸送: しっかりと蓋が閉じていて、直立している状態で輸送して下さい。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認して下さい。

Annex II (Marpol73/78)及び IBC コードによるばら積み輸送: N/A

セクション 15ー適用法令

日本の規制:

化学物質管理促進法 (PRTR 法) / 第一種指定化学物質: 該当しない
/ 第二種指定化学物質: 第 20 号 140-11-4:酢酸ベンジル <0.02% (非該当)

労働安全衛生法/文書交付義務対象物質:
第 61 号 64-17-5: エタノール <3%
第 183 号 140-11-4: 酢酸ベンジル <0.02% (非該当)
第 319 号 1310-73-2 水酸化ナトリウム <0.15% (非該当)

U.S.規制: TSCA 4(a) テスト結果:	第四アンモニウム化合物、ベンジル［アルキル（Ｃ１２～１６）］ジメチルアンモニウム＝クロリド
TSCA 8(a) PAIR:	2-(4-tert-ブチルベンジル)プロピオンアルデヒド
TSCA 8(a) CDR Exempt/Partial exemption:	未決定
Clean Water Act(CWA)311:	水酸化ナトリウム
Clean Air Act Section 112(b)有害大気汚染物質(HAPs):	リストに記載なし
Clean Air Act Section 602 クラス I 物質:	リストに記載なし
Clean Air Act Section 602 クラス II 物質:	リストに記載なし
DEA List I 化学物質 (Precursor Chemicals)	リストに記載なし
DEA List II 化学物質 (Essential Chemicals)	リストに記載なし

SARA 302/304

組成、成分情報

特になし

SARA304 RQ: N/A

SARA311/312

分類: 可燃性、早発性(急性)健康有害性、遅発性(慢性)健康有害性

組成、成分情報

成分名	%	火災危険	急な圧力の放出	反応性	早発性(急性)健康被害	遅発性(慢性)健康被害
ベンジル［アルキル（Ｃ１２～１６）］ジメチ	≥5 - <9	無	無	無	有	無

ルアンモニウム＝クロリド						
decyldimethyloctylammonium chloride	≥5 - <7	無	無	無	有	有
α－アルキル（Ｃ１２～１５）－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）	≥5 - <10	無	無	無	有	無
ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	≥3 - <5	無	無	無	有	無
エチレンジアミン四酢酸ナトリウム	≥3 - <3.4	無	無	無	有	無
エタノール	≥1 - <3	有	無	無	有	無
ジオクチルジメチルアンモニウム＝クロリド	≥1 - <2.9	無	無	無	有	有

州規制

マサチューセッツ	次の物質について明記あり:	エチルアルコール、変性アルコール
ニューヨーク	明記なし	
ニュージャージー	次の物質について明記あり:	エチルアルコール、アルコール
ペニシルバニア	次の物質について明記あり:	デンタルアルコール、エタノール

国際規制

Chemical Weapon Convention List Schedules I,II&III Chemicals	明記なし
Montreal Protocol(Annexes A,B,C,E)	明記なし
Stockholm Convention on Persistent Organic Pollutants	明記なし
Rotterdam Convention on Prior Inform Consent (PIC)	明記なし
UNECE Aarhus Protocol on POPs and Heavy Metals	明記なし

国際リスト

ナショナルインベントリー

オーストラリア:	未決定	
カナダ:	未決定	
中国:	未決定	
ヨーロッパ:	未決定	
日本:	日本インベントリー(ENCS):	未決定
	日本インベントリー(ISHL):	未決定
マレーシア:	未決定	
ニュージーランド:	未決定	
フィリピン:	未決定	
韓国:	未決定	
台湾:	未決定	

セクション 16－その他の情報

危険有害性情報システム（米国）

Health	*	2
Flammability		2
Physical hazards		0

全国防火協会（米国）

2016 年 9 月 6 日認証　　2016 年 9 月 6 日印刷

当社の知識に関する限り、本紙に記載されている情報は正確なものです。しかし、その正確さや安全性に対する一切の責任は、当社及び関連業者では負いかねますのでご了承下さい。あらゆる物質の適合性の最終判断は、利用者の責任であることをご了承下さい。あらゆる物質に未知なる危険性が潜んでいる可能性がありますので十分に注意してご利用下さい。本紙では一般的な危険性についてご説明しましたが、それ以外にも存在する可能性がございますのでご注意下さい。

東栄部品株式会社